

毛呂山 鎌北ボルダー

令和7年2月8日 RCT/K

このボルダーエリアは、2年前に大怪我をした後、リハビリ登山時に見つけたボルダーであるが、あまりにも苔だらけだったので、その後行こうという意欲がなかなか湧かなかった。しかし、昨年末のボルダートライ時に、以前からあまり調子の良くなかった指の痛みが悪化し暫く休んでいたのだが、このところ漸く回復してきたので体調管理のために期待せずに行ってみた。

一番大きなA岩を簡単に掃除をしてみると、予想に反してなかなか面白いボルダーで、力の落ちてきた自分にとっては手頃で十分に楽しめるボルダーであった

対象となるボルダーは4個ほど、高さは1mから3m程、岩質はチャート、浮石は落としたのでほぼしっかりしている。

アクセスは、毛呂山町の鎌北湖の先、鎌北集落から鎌北林道に入り暫く行くと、左にみちさと峠への登山口がある。車は登山口に何台か駐車可能で特に問題はない。

トイレは、鎌北湖の第一・第二駐車場にある。

アプローチは、登山口を入れて200m程行くと左下の沢に岩(下が川でボルダーとしては不可)が見えるので、踏み跡を沢まで下り右岸を上流部に向かうとすぐにボルダーが見え、川を渡った先にまず小さなB岩がある。



《課題紹介》

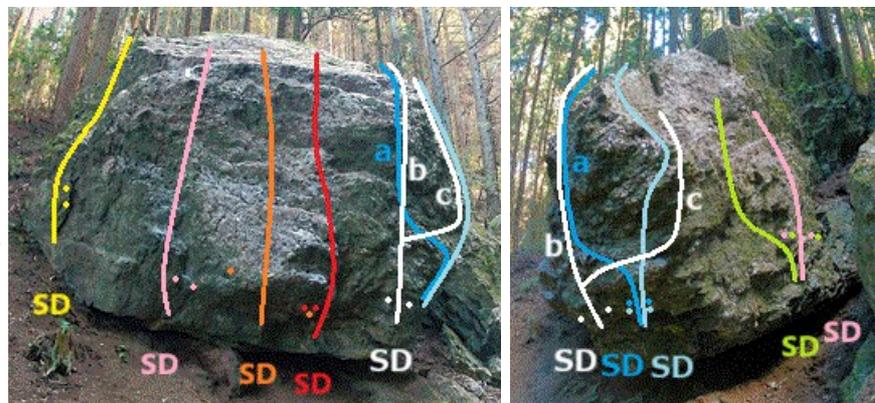
●A岩

トポ左:西面側

右:南面側

このエリアで一番大きな岩で、高さ4m程だが、上はスラブなので実質3m程。

最初はガバだらけで易しい課題ばかりかと思っていたが、水色ラインは予想に反して難儀(自分にとっては)した。



水色ラインは、スタートホールドのガバが欠けたので難しくなったが左側の甘いガバっぽいホールドでスタートしガバにデッドすることで解決した。スタートで左足をロックするのがポイントだが効かせにくい。右足は奥の岩に触らない。上部はカンテ上のガバがパワーなく届かずフェイスのホールドで中継してガバを取った。(下記古畑氏はガバから直接カンテ上のホールドを取っている)

青ラインは、真下からSDでスタートしたかったが、絶対的パワー不足で登れず取り敢えず水色ラインから繋げた課題で、ホールドが近めに続いているので水色ラインより易しく感じた。左に出るからは赤ラインのガバに足を出さない。

黄緑ラインは、上に上がらず左の斜めホールドを取ってから上のガバにデッドする。

オレンジラインは、赤ラインのクラックのガバは使わない。

※なお、後日、青ライン下部SD(白ラインSD)から直上(白b 課題名:羅睺羅【らごら】)と水色ライン上部へのリンクライン(白c 課題名:阿難陀【あなん】)が古畑隆明氏により登られた。

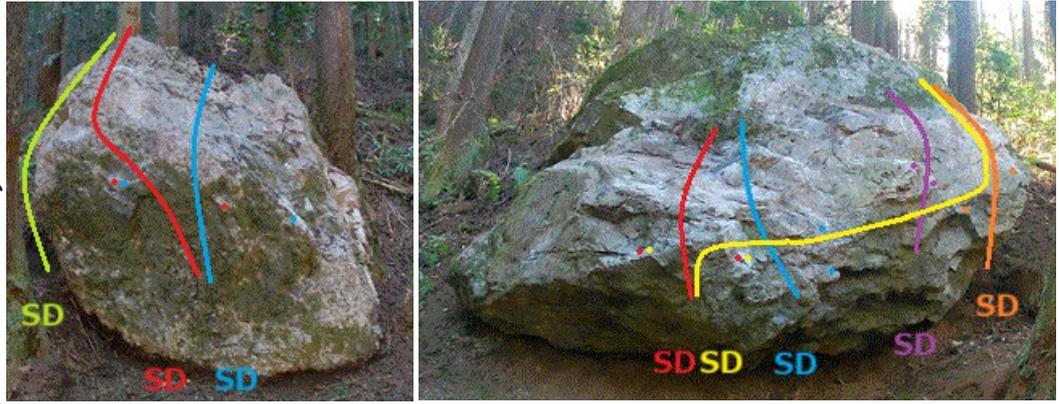
○ 埼玉毛呂山/鎌北ボルダー/羅睺羅・阿難陀 <https://www.youtube.com/watch?v=lsZ-3vnt-L4>

●B岩&C岩

トポ左:B岩
右:C岩

B岩は、A岩の少し手前にある小さな岩。

赤ラインは、両手小カチで身体を上げ左上のホールドにデッド。



C岩は、B岩から山の斜面を少し登った所にある岩。高さはないが下がハングした岩でSDでトライするとそこそこ楽しめる。意外とパワフル。

赤と青ラインが、高さはないが、上のガバを取るのが遠くてきつい。

※なお、後日、赤ラインからオレンジラインまでのトラヴァース課題(黄)が古畑隆明氏により登られた。

●D岩

トポ左:下流側 右:上流側

駐車スペース先の林道の右下、川沿いにある2.5m程の岩で、下地はあまり良くない。多分夏は沢の水嵩が増してトライ不可能となる可能性あり。

下流側の課題は土台の岩は不使用。

赤ラインは、引き付けて右手を斜めのホールドにデッド。

青ラインは、左手甘めのガバホールド、右手甘い小ホールドで思い切り足を上げ、上部はバランスで身体を上げる。

オレンジラインは、左手顕著なカチ、右手右下のサイドプルでスタート。意外とパワフル。

